

事業名	国際観光推進費			調査番号	75
細事業名	国際観光振興機構負担金	財務コード	102503		
担当部課室	観光 部 国際観光交流 課 国際観光振興 担当 (内線)	4421			

事業の概要			
実施期間	始期 H15 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助(独立行政法人 国際観光振興機構(JNTO))		
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	外国人	日本に魅力を感じ訪れている	山梨県への外国人旅行者の増加
内容	<国際観光振興機構の主な取り組み内容> 調査統計刊行物の発行、認知度向上のための観光宣伝、訪日ツアー開発・造成・販売支援、 外国人観光案内所への支援、拡大、受入体制や対応能力の拡充支援、国際会議およびインセンティブ旅行の誘致 会員の海外プロモーション時等における情報提供やセールス、PR支援		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)									
区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
活動指標	個別コンサルティング件数	目標	-	-	1,272	3,000	3,000	3,000	3,000
		実績(見込)	-	-	2,905	2,863	3,683	3,150	
		達成率	-	-	228.4	95.4	122.8		
		達成区分	-	-	a	b	a		
成果指標	外国人延べ宿泊者数(県内) 単位:千人	目標	572	615	657	700	1,145	1,341	1,537
		実績(見込)	250	387	492	949	1,252	1,526	
		達成率	43.7	62.9	74.9	135.6	109.3		
		達成区分	c	c	c	a	b		
決算(予算) 単位:千円		720	700	700	700	700	700	680	

事業の評価(平成27年度の業績評価)		
活動指標	a	評価
成果指標	b	
JNTOと連携し、観光宣伝や海外プロモーションを実施することにより、平成26年度と比較し平成27年度は、外国人延べ宿泊者数(県内)が大幅に増加しており、意図した成果をほぼ上げている。		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)	
県関与の必要性	判定 <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明 <input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他()
有効性(成果向上)	判定 <input checked="" type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明 JNTOが世界14都市にある海外事務所と連携した海外プロモーションを行うことで、外国人延べ宿泊者数(県内)のさらなる増加が見込まれる。
見直しの余地	判定 <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明 <input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他()
その他	説明
見直しの必要性	無

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)	
現行どおり	説明

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。